

## 所長の模型部屋（第18回）

みなさん、こんにちは！駐屯地記念日で見所と言え、やはりグラウンドで行われる訓練展示（模擬戦）ですよ。普段は見ることのできない装備品や全装具を付けた隊員が派手に打ちまくりながら敵部隊を制圧するのですから、マニアにはもちろん、一般の市民にも興味深いのではと思います。私も父が高田駐屯地の第2普通科連隊に勤務していたことから、駐屯地記念日には入隊するまで必ず行っていましたね。そんな中、私が一番恐かった装備品は・・・

**60式自走106mm無反動砲**です。



何が怖いかって・・・あの射撃音です。もちろん空包なのですが、爆風が砲口からも砲尾からも排出されるので、その音は半端なものじゃないですよ。訓練展示を見ながら、必死に耳を押さえていたのを覚えています。昔、父から聞いた話ですが、演習場の弾着地域には誰も入らないことから山菜が沢山生えており、立入禁止にもかかわらず一般の方々がそれらを採りに無断で入っていました。（今でもそうですが・・・）危険なので拡声器で出ていくように呼びかけるのですが、出ていくわけがない。そこで、中隊長が「空包を撃て！」しばらくしてこの自走無反動砲からドッカーン！すると、たちまち入山していた方々は一目散に逃げていったそうです。分かるような気がします。射撃音が高いので遠くまで届くんですよ。おまけに衝撃波が凄い！

入隊してからはあまり縁のない車両でしたが、小学校の頃を思い出し、地元の第2普通科連隊仕様としました。



キットはブレイブモデルのレジンキャストキットです。この自走無反動砲には空冷式と水冷式があったようですが、戦車乗りの私には良く分かりません。このキットのタイプが第2普通科連隊に装備されていたかは不明ですが、イメージを優先して作ることを楽しみました。複合素材キットでしたが、それぞれの部品の完成度は高く、無理なく組み上げることが出来ました。ただ、エッチングパーツだけ心なしかオーバースケールではないかと思いましたが・・・



射撃姿勢と移動姿勢のどちらにするかで迷ったのですが、射撃姿勢にすると砲手の足が出ますし、車体内部も一部露出してしまいますので移動姿勢としました。こっちの方がカッコイイし。



小学校の頃の目線で見るとこんな感じだったかな。当時の私には迫力のある車両でした。塗装はアクリルタミヤの自衛隊色です。サフェイサーを塗った後にエアブラシで吹き付けました。キャタピラはメタリックグレイにゴムパット部をタイヤブラックで。後はウェザリングスティックでドライブラシです。



リベット止めの形からも旧軍戦車を彷彿とさせる装備品です。さて次回は、この無反動砲と同時期に配備された・・・

**60式装甲車**です。

ではまたお付き合い下さい。